

## 平成22年度第9回経営協議会議事要録

日時 平成23年3月14日（月）15時  
場所 愛知教育大学 第三会議室  
出席 学内委員6名 欠席なし  
学外委員4名 欠席2名

会議成立

開会15時

議事に先立ち、学長から挨拶の後、今般の東北地方太平洋沖地震により被災した地域出身の本学学生の安否情報、今後の支援活動等について報告があった。

次いで総務課長から、本日の配付資料の確認及び会議日程等の説明があった。

### 議 題

1. 平成22年度第8回経営協議会議事要録の承認について  
学長から提議され、原案どおりこれを承認した。

2. 平成23年度国立大学法人愛知教育大学年度計画について

学長から提議され、本件は毎年度の開始前に、中期目標・中期計画に基づき年度計画を定め、文部科学大臣に届け出ることとされていることの説明の後、資料に基づき、大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置、業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置等について説明があった。

これに対して、質疑応答の後、今後、修正等があれば、年度内に役員会にて検討し提出することを了承し、標記計画案を承認した。

3. 給与支給制度の改正について

学長から提議され、折出委員から資料に基づき、①2011年度の地域手当については前年度と同率の支給割合を継続すること（ただし単年度）、②非常勤職員の職種に研究職員として特別研究員を追加したこと及び附属学校において補助教員として、学習指導補助教員等を追加してこれまでの非常勤講師に比して単価を下げたこと等について説明があった。

これに対して、以下のとおり質疑応答の後、標記改正案を承認した。

○委員からの質疑 ●大学側の応答

○講師の時間単価は名古屋市と比較するとどうなのか

●名古屋市と比較すれば差(安価)があるが、他の国立大学と比較すれば安価ではないことや財政事情等を考慮すれば、やむを得ないと考えている。

○教育現場で質の高い教育を補助するには、ある程度給与を高くすることも必要ではないか。

●財政事情等を見ながら検討したい。

4. 業務達成基準の適用について

学長から提議され、①本件については監査法人からの了承が得られなかったため、今後文部科学省とも相談しながらの対応とし、今回は取り下げたいこと、②今後、監

査法人からの了承が得られれば、持ち回り形式による審議としたい旨の説明があり、これを了承した。

5. 2011年度学内予算について

学長から提議され、折出委員から、資料に基づき、収入予算及び支出予算の総額及び事項別の予算額、収入予算書及び支出予算書の項・目・細目・予算額等について説明があり、標記予算案について承認した。

## 報 告

1. 新役員体制について

学長から、23年度の新役員体制について次のとおり報告があった。

【継続】

折出健二 理事（総務担当）

岩崎公弥 理事（教育担当）

【任期満了】

村松常司 理事（学生担当）

横地正喜 理事（連携担当）

【新規】

都築繁幸 理事（学生担当）

白石薫二 理事（財務・施設担当）・事務局長

2. 平成23年度経営協議会の開催予定について

学長から資料に基づき、標記日程について報告があった。

3. 2010年度予備費の使途について

折出委員から、資料に基づき、主に財政事情の厳しさから先送りしてきた事項への対応であることについて報告があった。

4. 次回の開催日について

総務課長から、平成23年度第1回経営協議会は4月18日から22日の間で日程照会中である旨報告があった。

議事終了後、学長から平成22年度経営協議会終了にあたり、各委員に対し謝辞が述べられた。

閉会 16時